



### 特殊詐欺防止や交通安全などを啓発

12月15日(金)、秋田市臨港防犯協会の会員や秋田臨港警察署の署員、飯島支店の職員が、年末の年金支給日に合わせた防犯啓発運動を同支店の前で行いました。窓口やATMを利用しに訪れた人に「だまされま煎茶」と書かれたティーバッグやチラシなどを手渡しして、特殊詐欺や交通安全などへの注意を喚起しました。

会員らは「電話などでお金のお話をされたら、まずは他の人に相談してください」「寒くなってきたので安全運転を心掛けてください」などと呼び掛けました。

📷 特殊詐欺などへの注意を促す会員ら



### 「美味しい米」コン9点を食べて審査

12月14日(木)、令和5年度「美味しい米」コンクルールの食味官能審査会が秋田県総合保健センターで開かれ、最終審査に残った9点をJA関係者や米穀販売業者、飲食業者などが評価しました。審査員は炊飯した白米の香りを嗅ぎ、色つやや胚芽の有無、粒の割れや崩れなどを観察。噛んだときの粘りや硬さ、甘みや口に広がる香りなども、基準米と食べ比べて審査しました。

コンクルールの結果は1月26日(金)に開催予定の生産者大会で発表し、最優秀賞を受賞した米は当JA直売所で販売します。

📷 審査米を基準米と比較する審査員



### 「サキホコレ」実績検討会

12月20日(水)、令和5年産「サキホコレ」の実績検討会が雄和支店で行われ、秋田市内の生産者が参加しました。秋田地区営農センターの営農指導員が生育経過や管内の栽培管理の傾向を報告し、特別栽培米に対応した肥料設計や防除体系なども説明しました。秋田地域振興局農業振興普及課は気象経過や生育調査の結果に触れて、健苗を育成する重要性などを話しました。

令和5年度は101名が115・6ヘクタールで「サキホコレ」を生産し、出荷量は1万1932袋に上りました。

📷 「サキホコレ」の栽培経過を振り返る生産者



### 「あぐりんなかいち」9周年祭

直売所「あぐりんなかいち」が平成26年のオープンから9周年を迎えました。12月16日(土)に周年祭が開かれ、大勢の人でにぎわいました。

店頭には地場産のネギやダイコン、リンゴやサツマイモなどが特価で並び、地域住民や通りがかった人が手に取ってレジに行列を作りました。蒸しパンなどの特別販売や、「あきたこまち」や加工品などが当たる抽選会も注目を集め、多くの人が足を止めました。

10周年を迎える令和6年も、様々な地場産品を楽しむことができる直売所づくりに努めます。

📷 地場産の野菜を買い求める人々